

貧困研究会

第7回研究大会

共通論題 憲法25条ゆかりの地で、あらためて『最低生活保障』を問う

2014年11月8日(土) 9日(日)
於 サテライトキャンパスひろしま

11月8日(土) シンポジウム

12:30~17:30	憲法25条ゆかりの地で、あらためて『最低生活保障』を問う ～原論・政策・運動の三領域から～ 報告1: 「ナショナルミニマム保障の哲学」 堅田香緒里 (法政大学) 報告2: 「最低生活保障の具体的参照基準: 誰が、どのようなデータを使いどのように決めるのか?」 岩田正美 (日本女子大学) 報告3: 「生存権保障をめぐる運動の今」 稲葉剛 (特定非営利活動法人自立生活サポートセンター・もやい) コーディネーター 青木紀 (名寄市立大学)
17:40~18:20	年次総会
18:30~	懇親会

11月9日(日) 分科会・自由論題報告

9:30~11:30	分科会1: ドイツの最低生活保障基準決定とその検証の在り方をめぐる違憲判決 ヨハネス・ミュンダー (ベルリン工科大学法学部教授)
	分科会2: 住まいの貧困調査 (中間報告) 「首都圏における不安定就業者の居住実態について」 (東京チーム) 「名古屋における不安定就業者の居住実態について」 (名古屋チーム) 「大都市における低家賃民営借家ストックの変化に関するデータ分析」 式王美子 (立命館大学)
13:00~15:00	自由論題 「フード・バンクの今日的意義ーレスト・ド・クールの事例から」 佐藤順子 (佛教大学 福祉教育開発センター) 「ワーキングプアの計量分析」 村上雅俊 (阪南大学) 「反転する「最低賃金と生活保護の逆転現象」～生活保護基準引き下げの影響～」 桜井啓太 (大阪市立大学人権問題研究センター) 「社会的弱者の「被災後」から「平常時」の生活を支える制度の探究～住宅手当に焦点を当てて」 岩永理恵 (神奈川県立保健福祉大学)

※参加費 (会場費および資料代等) 1,000円 (学生・院生、無職の方は無料)

大会実行委員会 (お問い合わせ先)

広島大学大学院総合科学研究科・総合科学部 佐々木宏

e-mail [hsasaki\[at\]hiroshima-u.ac.jp](mailto:hsasaki@hiroshima-u.ac.jp) (送信時には[at]を@に置き換えて下さい)

会場周辺地図



サテライトキャンパスひろしま
 (広島県民文化センター 5・6階)
 〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3
 TEL: 082-258-3131 FAX: 082-258-3010

交通アクセス

JR広島駅から	路面電車：西広島行、江波行、宮島行「紙屋町西」(約20分) より徒歩約3分
広島空港から	リムジンバス：広島バスセンター行(約60分)

※本研究大会は、大阪市立大学都市研究プラザの先端的都市研究拠点共同利用事業の助成を受け実施するものです。